

**製品名: SOCS-3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18092**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	SOCS3 CIS3 SSI3
別名	Suppressor of cytokine signaling 3 (SOCS-3;Cytokine-inducible SH2 protein 3;CIS-3;STAT-induced STAT inhibitor 3;SSI-3)
遺伝子 ID	9021.0
SwissProt ID	O14543
免疫原	AA 範囲: 20-70 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

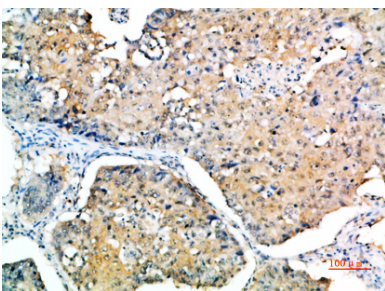
この遺伝子は、STAT 誘導性 STAT 阻害因子 (SSI) ファミリーのメンバーをコードします。これはサイトカインシグナル伝達抑制因子

(SOCS) としても知られています。SSI ファミリーのメンバーは、サイトカイン誘導性サイトカインシグナル伝達の負の調節因子です。この遺伝子の発現は、IL6、IL10、インターフェロン (IFN)  $\gamma$  など、さまざまなサイトカインによって誘導されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は JAK2 キナーゼに結合し、JAK2 キナーゼの活性を阻害します。この遺伝子のマウス対応遺伝子の研究は、胎児の肝臓造血および胎盤の発達の負の調節におけるこの遺伝子の役割を示唆しました。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: SOCS3 のプロモーター領域の遺伝的変異は、アトピー性皮膚炎 4 (ATOD4) の感受性と関連している可能性があります[MIM: 605805]。アトピー性皮膚炎 [MIM:603165] は湿疹としても知られ、一般的に乳児期または幼少期に始まり、かゆみと炎症を起こした皮膚が特徴です。、domain:ESS ドメインと SH2 ドメインは、JAK リン酸化チロシン結合に必要です。シグナルおよびキナーゼ阻害には、KIR ドメインとのさらなる相互作用が必要です。、domain:SOCS ボックス ドメインは、さまざまな E3 ユビキチン リガーゼ複合体のアダプター モジュールである Elongin BC 複合体との相互作用を媒介します。、function:SOCS ファミリー タンパク質は、サイトカイン シグナル伝達を制御する古典的な負のフィードバック システムの一部を形成します。SOCS3 は、JAK/STAT 経路を介してシグナルを伝達するサイトカインの負の制御に関与しています。gp130、LIF、エリスロポエチン、インスリン、IL12、GCSF、レプチン受容体などのチロシン キナーゼ受容体に結合して、サイトカイン シグナル伝達を阻害します。JAK2 に結合すると、そのキナーゼ活性が阻害される。胎児肝赤血球産生を抑制する。T ヘルパー 2 型細胞を介したアレルギー反応の発現と維持を制御する。生体内で IL-6 シグナル伝達を制御する (相同性に基づく)。標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する、SCF 様 ECS (Elongin BC-CUL2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質認識成分と考えられる。IL6ST を認識すると考えられる。、経路: タンパク質修飾;タンパク質のユビキチン化。、医薬品: SOCS3 は、関節リウマチの治療薬として使用できる可能性があります。、PTM: サイトカイン、IL-2、EPO、または IGF1 による刺激後にチロシン残基がリン酸化されます。、類似性: 1 つの SH2 ドメインを含みます。、類似性: 1 つの SOCS ボックスドメインを含みます。、サブユニット: IGF1 受容体、インスリン受容体、JAK2 など、チロシンキナーゼシグナル伝達経路の複数の活性化タンパク質と相互作用します。JAK2 への結合は、JAK2 JH1 ドメイン内のリン酸化チロシン残基への KIR および SH2 ドメインを介して媒介されます。レプチン、EPO、IL12、GSCF、および gp130 受容体の特定の活性化チロシン残基に結合します。CSNK1E との相互作用により、SOCS3 タンパク質が安定化します。CUL5、RNF7/RBX2、エロンギン BC 複合体、および SOCS3 を含む、推定 ECS(SOCS3) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の構成要素。CUL5、RNF7、TCEB1、および TCEB2 と相互作用する。CUL2 とも相互作用する。、組織特異性: 心臓、胎盤、骨格筋、末梢血白血球、胎児および成人の肺、胎児の肝臓および腎臓で広く発現し、高発現を示す。胸腺では低レベルである。、

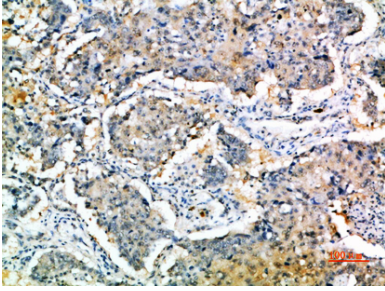
## 研究分野

ユビキチン媒介タンパク質分解;Jak\_STAT;インスリン受容体;アディポサイトカイン;2 型糖尿病;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された